

区分別科目	循環動態に係る薬剤投与関連		時間数 (法定)	29 (28)
特定行為名	(A) 持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 (B) 持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整 (C) 持続点滴中の降圧剤の投与量の調整 (D) 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整 (E) 持続点滴中の利尿剤の投与量の調整			
担当指導者	福井 道彦 (医師) 自閑 昌彦 (医師) 川上 敦司 (医師) 三木 健児 (医師) 山西 正芳 (医師) 碓井 太雄 (医師) 清水 優 (医師)			
学すべき事項	(共通) 循環動態に係る薬剤投与関連の基礎知識	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 循環動態に関する局所解剖</li> <li>2. 循環動態に関する主要症候</li> <li>3. 循環動態の薬物療法を必要とする主要疾患の病態生理</li> <li>4. 循環動態の薬物療法を必要とする主要疾患のフィジカルアセスメント</li> <li>5. 輸液療法の目的と種類</li> <li>6. 病態に応じた輸液療法の適応と禁忌</li> <li>7. 輸液時に必要な検査</li> <li>8. 輸液療法の計画</li> </ol>		
	(A) 持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. カテコラミン製剤の種類と臨床薬理</li> <li>2. 各種カテコラミン製剤の適応と使用方法</li> <li>3. 各種カテコラミン製剤の副作用</li> <li>4. 病態に応じたカテコラミンの投与量の調整の判断基準 (ペーパーシミュレーションを含む)</li> <li>5. 持続点滴中のカテコラミン投与量の調整のリスク (有害事象とその対策等)</li> </ol>		
	(B) 持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 持続点滴によるナトリウム、カリウム又はクロールの投与の臨床薬理</li> <li>2. 持続点滴によるナトリウム、カリウム又はクロールの投与の適応と使用方法</li> <li>3. 持続点滴によるナトリウム、カリウム又はクロールの投与の副作用</li> <li>4. 病態に応じた持続点滴によるナトリウム、カリウム又はクロールの投与の調整の判断基準 (ペーパーシミュレーションを含む)</li> <li>5. 持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整のリスク (有害事象とその対策等)</li> </ol>		
	(C) 持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 降圧剤の種類と臨床薬理</li> <li>2. 各種降圧剤の適応と使用方法</li> <li>3. 各種降圧剤の副作用</li> <li>4. 病態に応じた降圧剤の投与量の調整の判断基準 (ペーパーシミュレーションを含む)</li> <li>5. 持続点滴中の降圧剤の投与量の調整のリスク (有害事象とその対策等)</li> </ol>		
	(D) 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 糖質輸液、電解質輸液の種類と臨床薬理</li> <li>2. 各種糖質輸液、電解質輸液の適応と使用方法</li> <li>3. 各種糖質輸液、電解質輸液の副作用</li> <li>4. 病態に応じた糖質輸液、電解質輸液の調整の判断基準 (ペーパーシミュレーションを含む)</li> <li>5. 持続点滴中の糖質輸液、電解質輸液の投与量の調整のリスク (有害事象とその対策等)</li> </ol>		
	(E) 持続点滴中の利尿剤の投与量の調整	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利尿剤の種類と臨床薬理</li> <li>2. 各種利尿剤の適応と使用方法</li> <li>3. 各種利尿剤の副作用</li> <li>4. 病態に応じた利尿剤の調整の判断基準 (ペーパーシミュレーションを含む)</li> </ol>		

		5. 持続点滴中の利尿剤の投与量の調整のリスク（有害事象とその対策等）
--	--	-------------------------------------

<b>研修概要</b>	（共通）循環動態に係る薬剤投与関連の基礎知識	循環動態に係る薬剤投与に関連する基本的な知識を理解し、安全に薬剤投与を実践できる看護師を養成する。
	（A）持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	医師の指示の下、手順書により、身体所見（動悸の有無、尿量、血圧等）、血行動態及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、持続点滴中のカテコラミン（注射薬）の投与量の調整を行う。
	（B）持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整	医師の指示の下、手順書により、身体所見（口渇や倦怠感の程度、不整脈の有無、尿量等）及び検査結果（電解質、酸塩基平衡等）等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロール（注射薬）の投与量の調整を行う。
	（C）持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	医師の指示の下、手順書により、身体所見（意識レベル、尿量の変化、血圧等）及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲内であることを確認し、持続点滴中の降圧剤（注射薬）の投与量の調整を行う。
	（D）持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	医師の指示の下、手順書により、身体所見（食事摂取量、栄養状態、尿量、水分摂取量、不感蒸泄等）等が医師から指示された病状の範囲内にあることを確認し、持続点滴中の糖質輸液、電解質輸液の投与量の調整を行う。
	（E）持続点滴中の利尿剤の投与量の調整	医師の指示の下、手順書により、身体所見（口渇、血圧、尿量、水分摂取量、不感蒸泄等）及び検査結果（電解質等）等が、医師から指示された病状の範囲内にあることを確認し、持続点滴中の利尿剤（注射薬）の投与量の調整を行う。
<b>到達目標</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医師の指示の下、手順書により、医療面接、身体所見及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整ができるようになる。</li> <li>2. 医師の指示の下、手順書により、医療面接、身体所見及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整ができるようになる。</li> <li>3. 医師の指示の下、手順書により、医療面接、身体所見及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、持続点滴中の降圧剤の投与量の調整ができるようになる。</li> <li>4. 医師の指示の下、手順書により、医療面接、身体所見及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整ができるようになる。</li> <li>5. 医師の指示の下、手順書により、医療面接、身体所見及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、持続点滴中の利尿剤の投与量の調整ができるようになる。</li> <li>6. 手順書案を作成し、再評価、修正できる能力を養う。</li> <li>7. 医師、歯科医師から手順書による指示を受け、実施の可否を判断するために必要な知識を養う。</li> <li>8. 実施、報告の一連の流れが適切に行える。</li> </ol>	
<b>評価方法</b>	講義：eラーニングの受講及び講義確認テスト	
	演習：ペーパーシミュレーションによるグループワークを評価表に基づいて評価	
	実習：評価表（Mini-CEX）を用いた観察評価	
	試験：eラーニング上で筆記試験を実施	
<b>研修内訳</b>	講義（23 時間）	視聴時間 45 分 + 講義確認テスト 15 分
	演習（5 時間）	視聴時間（イントロ）5 分 + グループワーク 45 分 + 視聴時間（解説）10 分 ※eラーニング教材を活用して講義室で行う
	実習	実習は指導者の下、宇治徳洲会病院で行い、各特定行為ごとに最低 5 症例経験する ※各行為の実習観察評価 0.25 時間は 5 症例目の実習時間に含める。
	試験（1 時間）	科目修了試験（筆記試験）1 時間

		<p>(共通) 循環動態に係る薬剤投与関連の基礎知識 0.25 時間</p> <p>(A) 持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 0.15 時間</p> <p>(B) 持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整 0.15 時間</p> <p>(C) 持続点滴中の降圧剤の投与量の調整 0.15 時間</p> <p>(D) 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整 0.15 時間</p> <p>(E) 持続点滴中の利尿剤の投与量の調整 0.15 時間</p>
--	--	--

授業計画							
科目名	回	研修方法 /評価	授業 形態	学ぶべき事項		担当指導者	
循環動態 に係る薬 剤投与関 連	第 1 回	講義	放送	(共通) 循環 動態に係る薬剤 投与関連の基 礎知識	循環動態に関する局所解剖	福井 道彦 自閑 昌彦 川上 敦司 三木 健児 山西 正芳 碓井 太雄 清水 優	
	第 2 回				循環動態に関する主要症候		
	第 3 回				循環動態の薬物療法を必要とする主要疾患の病態生理		
	第 4 回				循環動態の薬物療法を必要とする主要疾患のフィジカルアセスメント		
	第 5 回				輸液療法の目的と種類		
	第 6 回				病態に応じた輸液療法の適応と禁忌		
	第 7 回				輸液時に必要な検査		
	第 8 回				輸液療法の計画		
	第 9 回				(A) 持続点 滴中のカテコラ ミンの投与量 の調整		カテコラミン製剤の種類と臨床薬理
	第 10 回						各種カテコラミン製剤の適応と使用方法
	第 11 回	各種カテコラミン製剤の副作用					
	第 12 回	演習	面接	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整のリスク (有害事象とその対策等)	病態に応じたカテコラミンの投与量の調整の判断基準 (ペーパーシミュレーションを含む)		
	第 13 回	講義	放送	(B) 持続点 滴中のナトリウ ム、カリウム又 はクロールの投 与量の調整	持続点滴によるナトリウム、カリウム又はクロールの投与の適応と使用方法、臨床薬理		
	第 14 回				持続点滴によるナトリウム、カリウム又はクロールの投与の副作用		
	第 15 回				持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整のリスク (有害事象とその対策等)		
	第 16 回	演習	面接	病態に応じた持続点滴によるナトリウム、カリウム又はクロールの投与の調整の判断基準 (ペーパーシミュレーションを含む)			
	第 17 回	講義	放送	(C) 持続点 滴中の降圧剤 の投与量の調 整	降圧剤の種類と臨床薬理		
	第 18 回				各種降圧剤の適応と使用方法		
	第 19 回				各種降圧剤の副作用		
	第 20 回				持続点滴中の降圧剤の投与量の調整のリスク (有害事象とその対策等)		
	第 21 回	演習	面接	病態に応じた降圧剤の投与量の調整の判断基準 (ペーパーシミュレーションを含む)			
第 21 回	講義	放送	(D) 持続点 滴中の糖質輸	糖質輸液、電解質輸液の種類と臨床薬理	各種糖質輸液、電解質輸液の適応と使用方法		

第 22 回			液又は電解質	各種糖質輸液、電解質輸液の副作用
第 23 回			輸液の投与量の調整	持続点滴中の糖質輸液、電解質輸液の投与量の調整のリスク（有害事象とその対策等）
第 24 回	演習	面接		病態に応じた糖質輸液、電解質輸液の調整の判断基準（ペーパーシミュレーションを含む）
第 25 回	講義	放送	(E) 持続点滴中の利尿剤の投与量の調整	利尿剤の種類と臨床薬理
第 26 回				各種利尿剤の適応と使用方法
第 27 回				各種利尿剤の副作用
第 28 回	演習	面接		持続点滴中の利尿剤の投与量の調整のリスク（有害事象とその対策等）
	実習	面接		病態に応じた利尿剤の調整の判断基準（ペーパーシミュレーションを含む）
				<p>持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整（見学）</p> <p>持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整（見学）</p> <p>持続点滴中の降圧剤の投与量の調整（見学）</p> <p>持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整（見学）</p> <p>持続点滴中の利尿剤の投与量の調整（見学）</p> <p>※患者に実技を行う前にモデル人形等を利用し、技術訓練を行う</p>
第 29 回	試験	試験	科目修了試験（筆記試験）	

参考図書・資料等	全日病 S-QUE 提供の講義資料をダウンロード
備考	<p>* e ラーニングにおける講義は、各自のパソコンで自宅等で視聴して差し支えない。</p> <p>* 質問事項がある場合は、全日病 S-QUE が提供する掲示板を参照、あるいは指導者まで連絡、適宜指導を受ける。</p> <p>* 指導者は、インターネットを通じて受講生の履修状況、設問の回答内容を確認し、必要に応じて指導、質疑に対する応答を行う（祝祭日を除く）。</p> <p>* 1 回以上レポートの提出を行い、指導者から添削指導を受ける。レポートの内容は学習進度に応じて履修開始後、連絡される。</p> <p>* 各行為の実習観察評価 0.25 時間は 5 症例目の実習時間に含める。</p> <p>* 科目修了試験（筆記試験）は、各時間終了後に行われる確認テスト及び実習で学習した範囲より出題し、指導者の監督の下、本人確認を行った上で、講義室で集合して行う。</p> <p>* 指導者は、必要に応じて受講者の理解を面接等で確認し、理解が不十分と判断された場合は、臨時の講義を行う。講義の場所は、講義室とする。</p>